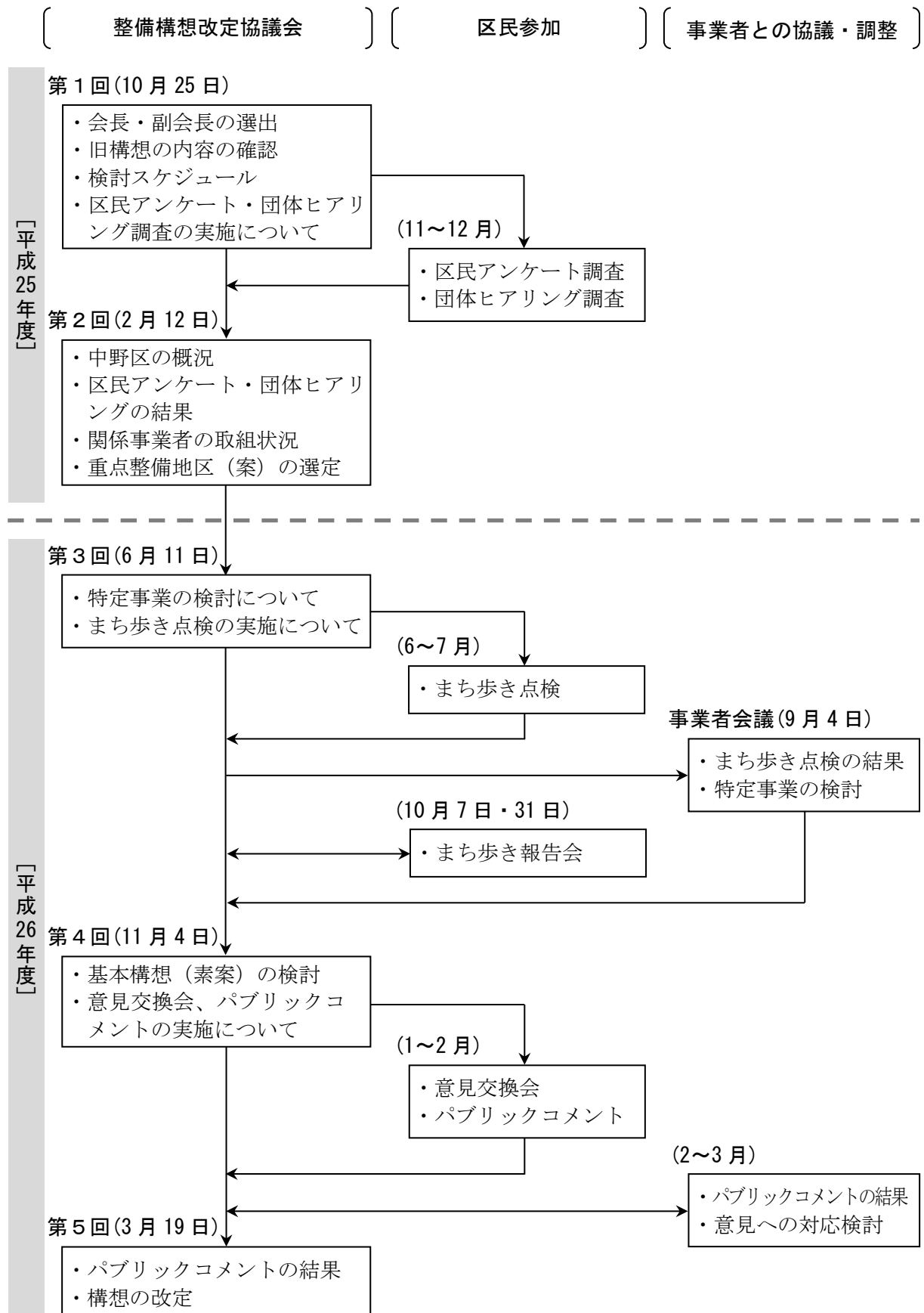


資料編

資料1 検討経緯



資料2 中野区の概況

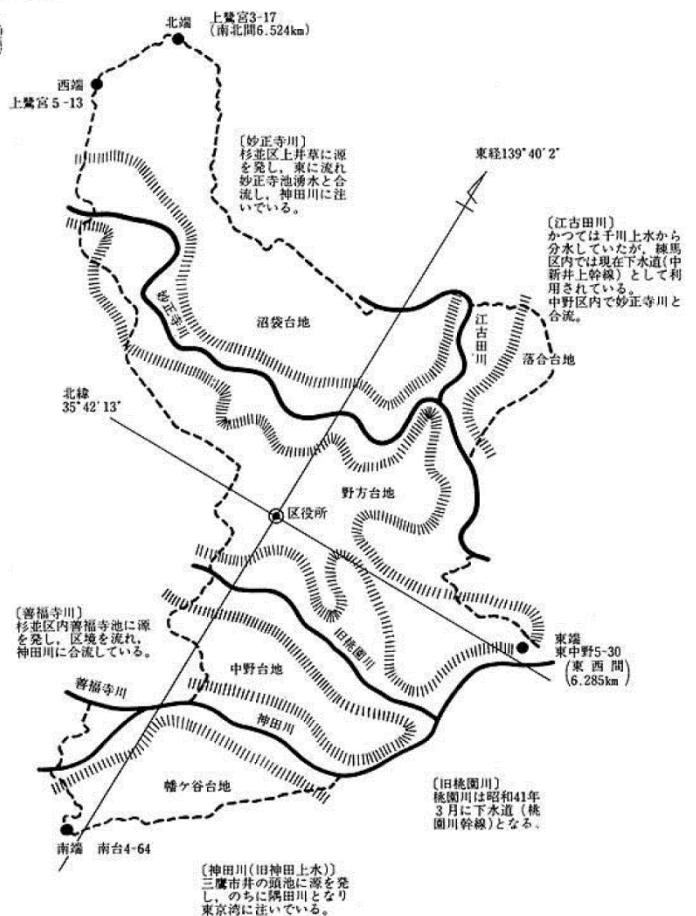
1. 位置・地勢

- ・中野区は、23区の方の西の方に位置し、東は新宿区、西は杉並区、南は渋谷区、北は練馬区に接している。
- ・面積は15.59km²で、東京都の総面積(2,187km²)の約0.7%、区部面積(621km²)の約2.5%にあたり、23区中14番目の広さである。
- ・東京の山の手地方を形成する武蔵野台地は、東京湾に向かって扇状に広がり、その中には多くの小台地に分かれており、中野区にも沼袋、野方、中野、幡ヶ谷、落合の5つ台地がある。その台地の間を江古田川、妙正寺川、旧桃園川、神田川、善福寺川の5つの川が流れている。
- ・区内の標高は、台地面では約40mのところが多く、神田川の流域などでは30m以下となっている。

中野区の位置と面積



中野区の地形

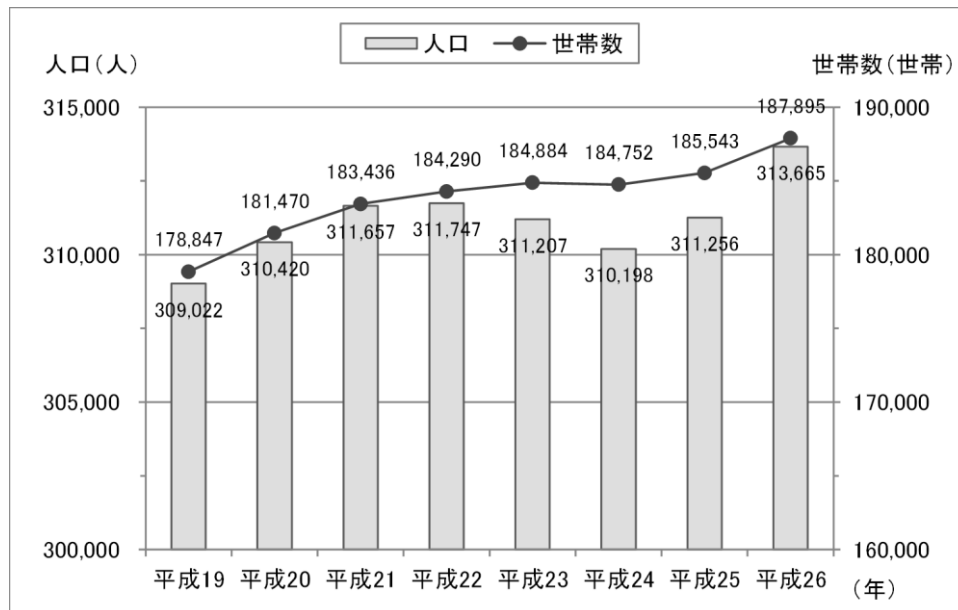


2. 人口・世帯

(1) 総人口・総世帯数

- ・中野区の人口及び世帯数は、平成26年1月1日現在、313,665人、187,895世帯である。人口は、平成22年から平成24年にかけて減少していたが、平成24年以降、増加の傾向にある。

人口と世帯数の推移

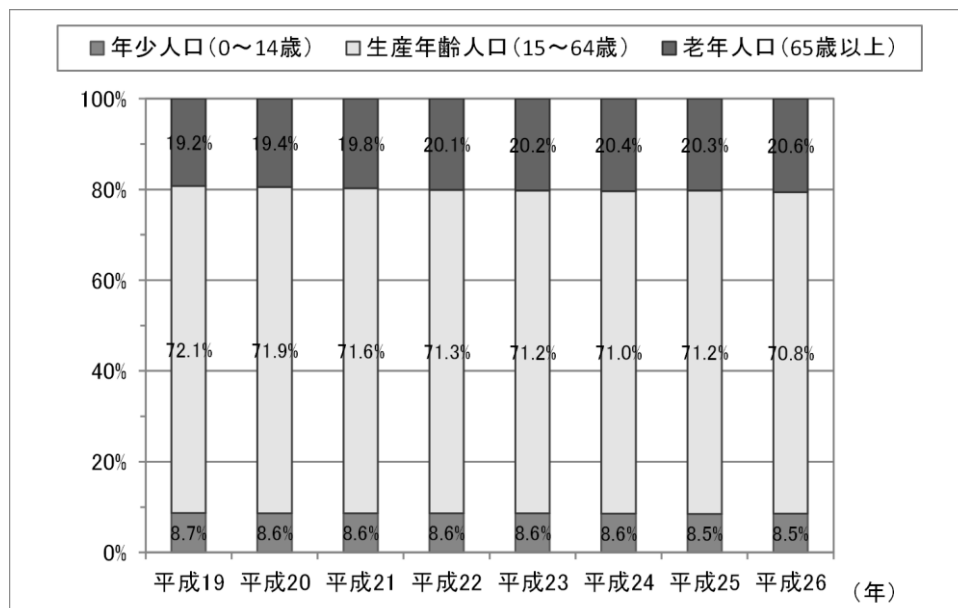


資料)住民基本台帳(各年1月1日現在)

(2) 年齢別人口

- ・年齢別人口の構成比をみると、年少人口(0～14歳)が8.5%、生産年齢人口(15～64歳)が70.8%、老年人口(65歳以上)が20.6%となっている。

年齢別人口の構成比の推移



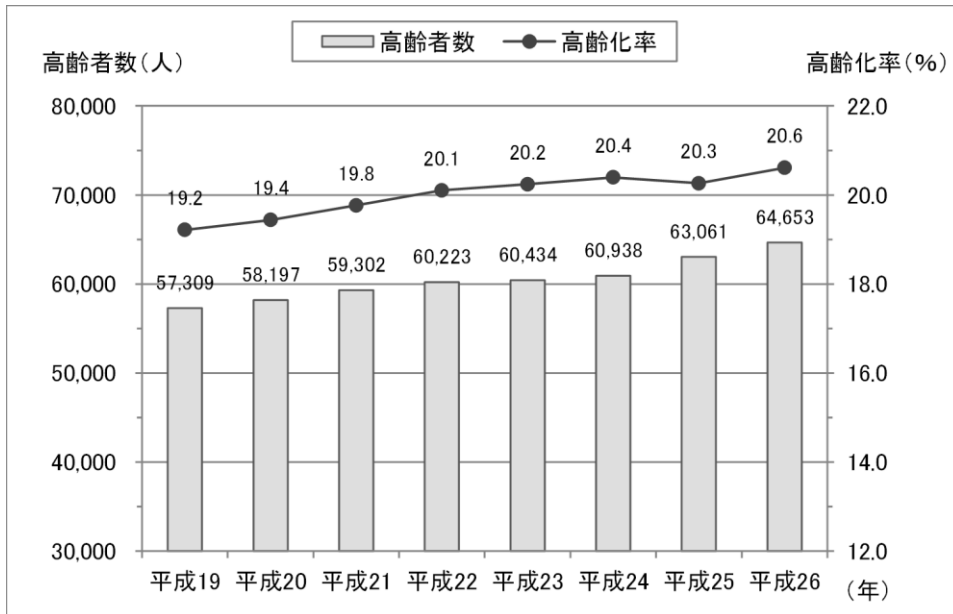
資料)住民基本台帳(各年1月1日現在)

3. 高齢者・障害者の状況

(1) 高齢者

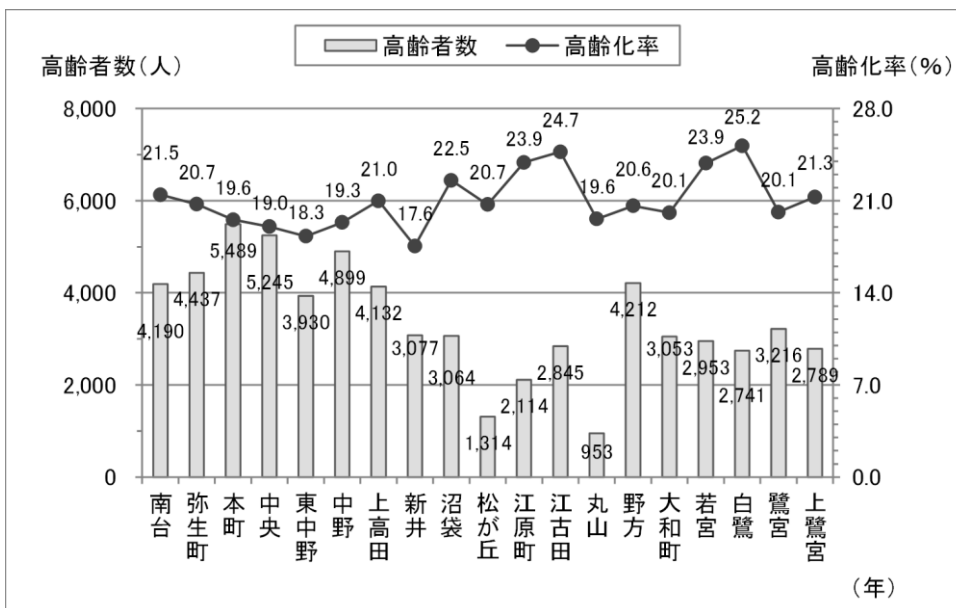
- ・中野区の高齢者（65歳以上）の人口は増加の傾向にあり、平成26年1月1日現在、64,653人で、高齢化率は20.6%となっている。
- ・町別の高齢化率をみると、白鷺が25.2%と高齢化率が最も高い。次いで、江古田が24.7%で、江原町と若宮が23.9%となっている。

高齢者（65歳以上）人口の推移



資料)住民基本台帳(各年1月1日現在)

町別高齢者（65歳以上）人口

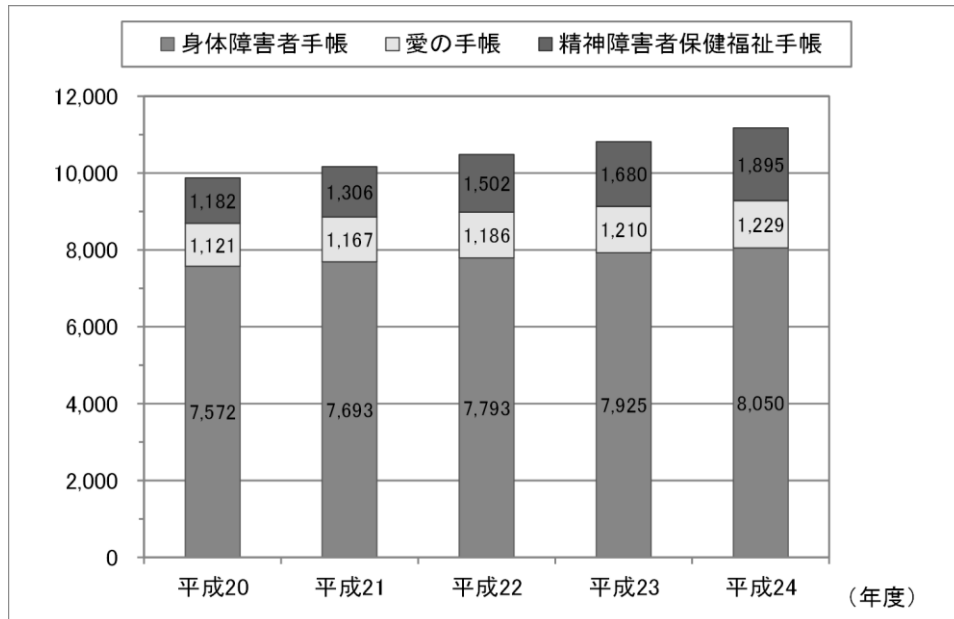


資料)住民基本台帳(平成26年1月1日現在)

(2) 障害者

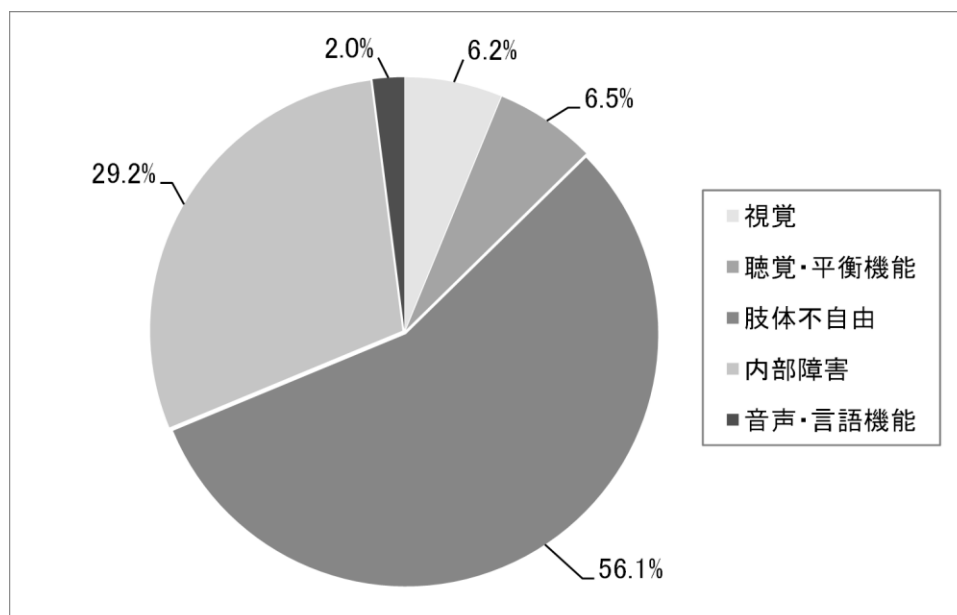
- ・中野区の障害者数は増加の傾向にあり、平成24年度では、身体障害者が8,050人、知的障害者が1,229人、精神障害者が1,895人となっており、総数は11,174人で、人口総数の約3.6%となっている。
- ・身体障害者について障害の種類別にみると、肢体不自由が約56%、次いで内部障害が約29%を占めている。視覚障害と聴覚障害は6%程度である。

障害者手帳所持者数の推移



資料)中野区健康福祉部事業概要

障害の種類別・身体障害者手帳所持者（平成24年度）



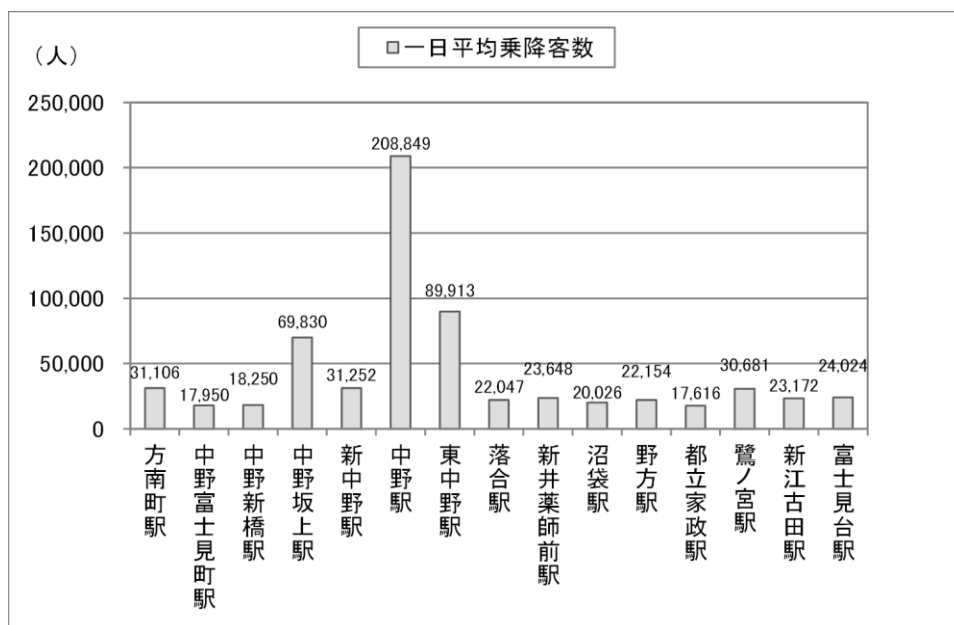
資料)中野区健康福祉部事業概要

4. 公共交通の状況

(1) 鉄道

- ・中野区には、J R中央線、西武新宿線、東京メトロ丸ノ内線・東西線といった新宿副都心から放射方向の路線が区内を横断している。また、都営大江戸線が区の東端を南北方向に通っている。
- ・区内及び区に隣接している駅は、区の北端で隣接している西武池袋線の富士見台駅などを含め、15 駅（乗り換え駅は1 駅としてカウント）ある。
- ・乗降客数が最も多い駅は中野駅で、1 日あたり約 21 万人の乗降客数がある。次いで、東中野駅が約 9 万人／日、中野坂上駅が約 7 万人／日となっている。

各駅の一日常乗降客数



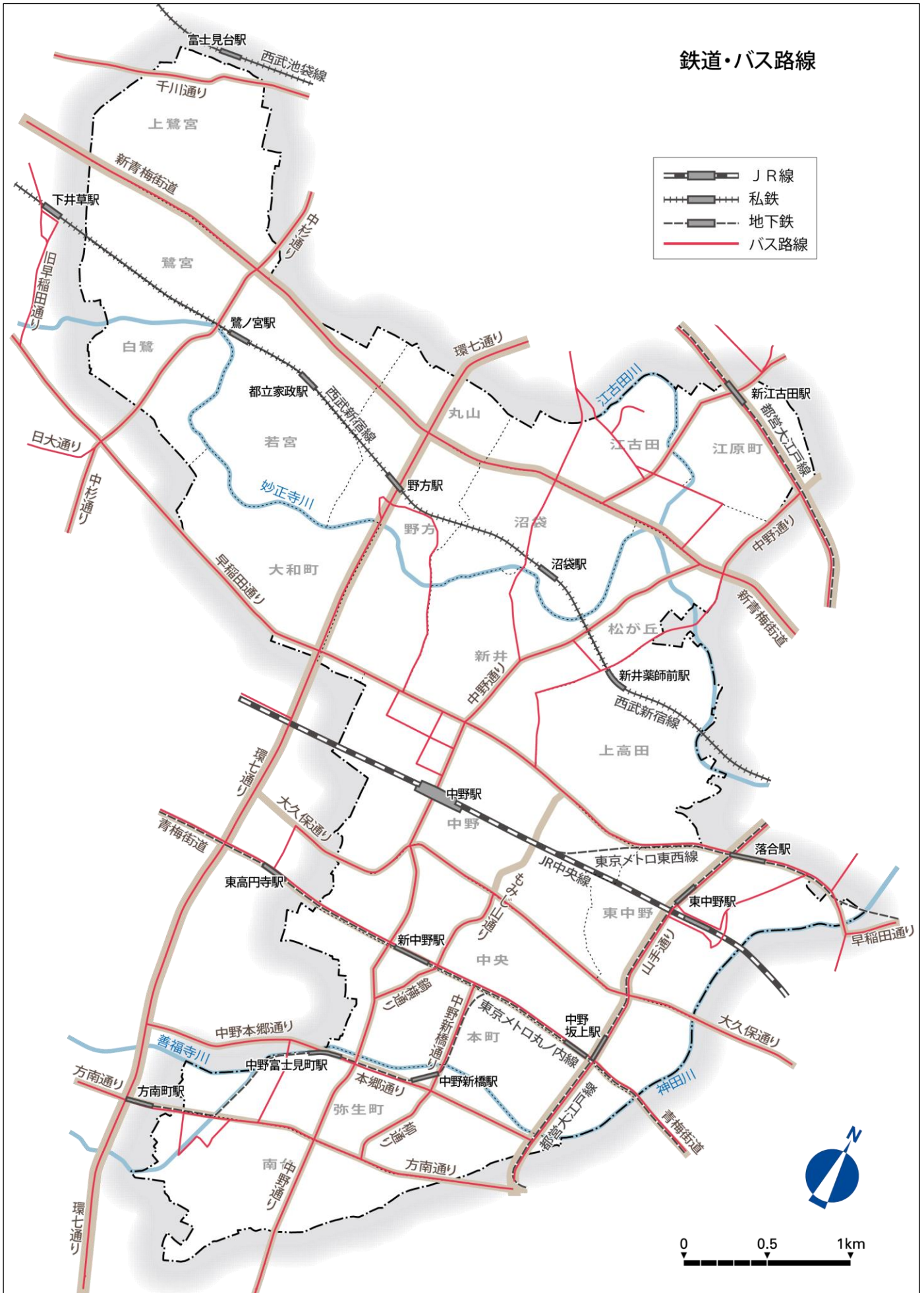
資料)平成 23 年版都市交通年報(平成 25 年 4 月発行)

注:乗降客数は平成 21 年度の値(乗り換え客数は含まない)

中野駅の乗り換え客数を含む駅利用者数は1日あたり約 30 万人である。

(2) バス

- ・中野区内を運行している路線バスには、都営バス、関東バス、国際興業バス、京王バス、西武バスがある。
- ・区の北側から中野駅、阿佐ヶ谷駅など J R 中央線の駅を結ぶ路線や、新宿駅や渋谷駅から区の南側を通り中野駅へ到着する路線などがあり、区内を南北方向に連絡する公共交通の役割を担っている。

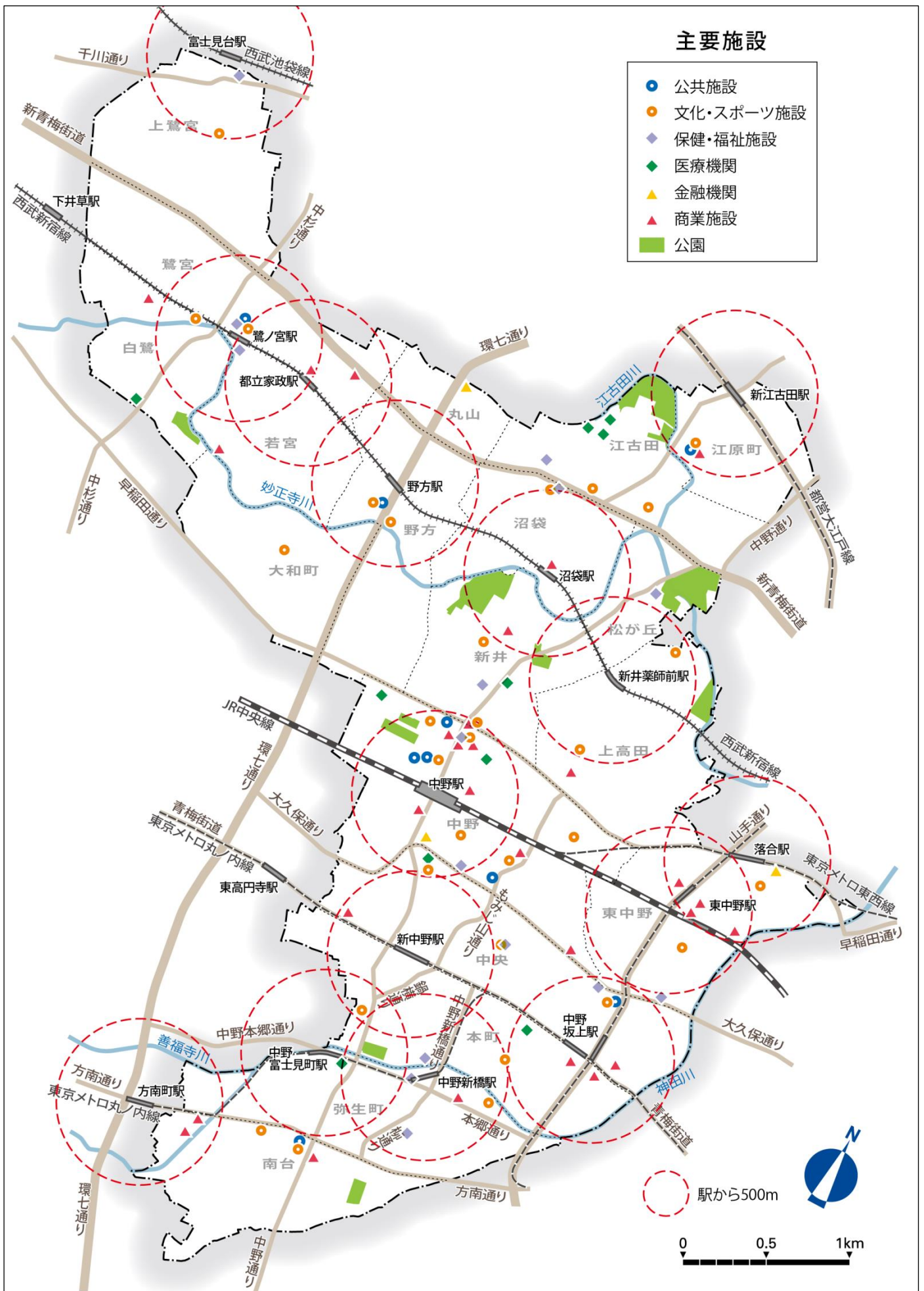


5. 施設の配置状況

- ・中野区内の主な施設（公共施設、文化・スポーツ施設、保健・福祉施設、医療機関、金融機関、商業施設、保育・教育施設、公園）は下表のとおりである。

中野区内の主要施設

種 別	施設内訳	施設数
公共施設	・区役所	1
	・地域事務所	5
	・税務署、都税事務所	2
	・年金事務所	1
文化・スポーツ施設	・図書館、資料館	9
	・ホール	4
	・区民活動センター	15
	・産業振興センター	1
	・商工会館	1
	・体育館	3
保健・福祉施設	・保健所	1
	・すこやか福祉センター	4
	・地域包括支援センター	8
	・障害者福社会館	1
	・中野区社会福祉協議会（スマイルなかの）	1
	・中野区障害者福祉事業団	1
	・中野区シルバー人材センター	1
医療機関	・病院	10
金融機関	・郵便局（集配局）	3
商業施設	・大型小売店（店舗面積 500 m ² 以上）	29
公園	・総合公園	1
	・地区公園	2
	・近隣公園	3
	・上記以外の大規模な公園（面積 10,000 m ² 以上）	3



6. 関連事業

(1) 都市計画道路の整備

- ・都市計画道路整備については、平成16年3月には東京都と特別区により、「区部における都市計画道路の整備方針」が策定され、この中で、平成16年度から平成27年度までの12年間を目標期間とした「第三次事業化計画」(優先整備路線)が選定されており、中野区内では、東京都所管を含め道路整備7路線、交差点改良4箇所、および駅広整備1箇所が選定されている。

(2) 西武新宿線の連続立体交差化

- ・西武新宿線の連続立体交差化は、平成23年8月に中井駅～野方駅間が地下方式で都市計画決定され、平成25年4月に都市計画事業認可を東京都が取得し、事業に着手した。この事業により、中野通りなど7箇所の踏切が無くなるとともに、鉄道により分断された地域の一体化が図られる。
- ・また、連続立体交差化の都市計画決定に合わせ、平成23年8月に新井薬師前駅及び沼袋駅の駅前広場と関連する街路が中野区区画街路第3号線・第4号線として都市計画決定され、中野区が整備を進めることになっている。

(3) 中野駅周辺まちづくり

- ・中野区は、中野駅を中心とする周辺の約110haを範囲とした、中野駅周辺地区を「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」としていくためのまちづくりに取り組んでおり、警察大学校等跡地を開発し、オフィスビルや大学、病院、住宅、公園など多様な都市機能が集積する中野四季の都市(まち)地区、にぎわいや交流の拠点として整備する区役所・サンプラザ地区、中野駅の南側の活性化を導く中野二丁目の市街地再開発や中野三丁目の駅直近地区のまちづくりなど、各地区の特色を活かしたまちづくりを進めている。
- ・また、現在2か所ある駅前広場の改修とともに、新たな駅前広場整備や、西側改札となる橋上駅舎・南北通路の設置といった中野駅地区の整備も進めている。

資料3 区民意向

1. 区民アンケート調査

(1) 調査の概要

- ・中野区のバリアフリー*の現状に対する区民の評価や意向などを把握するため、区内在住者及び駅利用者等に対して、アンケート調査を実施した。

【アンケート調査の概要】

調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・区内在住者：住民基本台帳から無作為抽出した区民（18歳以上） ・駅利用者：旧構想の重点整備地区内の駅（中野駅、東中野駅、新中野駅、野方駅、鷲ノ宮駅）の利用者（18歳以上） ・子育て世代：児童館を利用している子どもの保護者 ・障害者団体等の会員等
配布・回収方法	<ul style="list-style-type: none"> ・区内在住者：郵送配布・郵送回収 ・駅利用者：駅に手渡し配布・郵送回収 ・子育て世代：児童館を通じて配布・回収 ・障害者団体等の会員等：団体を通じて配布・回収
調査期間	・平成25年12月上旬～平成26年1月上旬
主な調査内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 中野区内の駅または駅周辺の利用状況（よく利用する駅、目的、駅周辺でよく利用する施設） 2) 駅のバリアフリー化について（満足度、評価） 3) 駅周辺の道路のバリアフリー化について（満足度、評価） 4) 駅周辺の信号機や横断歩道のバリアフリー化について（満足度、評価） 5) 駅周辺のバリアフリー化について（満足度、評価） 6) バスのバリアフリー化について（満足度、評価） 7) 心のバリアフリーについて（満足度、重要度） 8) 意見・要望（自由回答）

【アンケートの配布・回収状況】

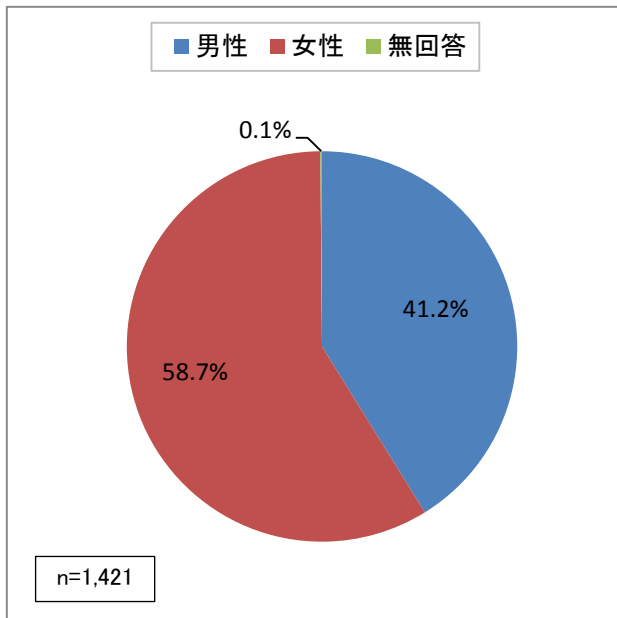
	配布数	有効回収数（有効回収率）
区内在住者	2,096	499（23.8%）
駅利用者	2,800	835（29.8%）
子育て世代	105	65（61.9%）
障害者団体等の会員等	35	22（62.9%）
合計	5,036	1,421（28.2%）

(2) 結果の概要 (単純集計)

① 回答者の属性

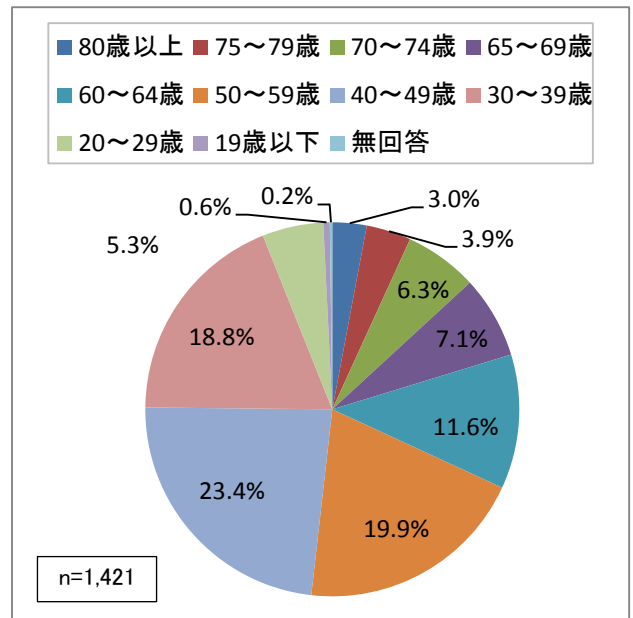
ア. 性別

- ・回答者の性別は、男性が約 41%、女性が約 59%となっている。



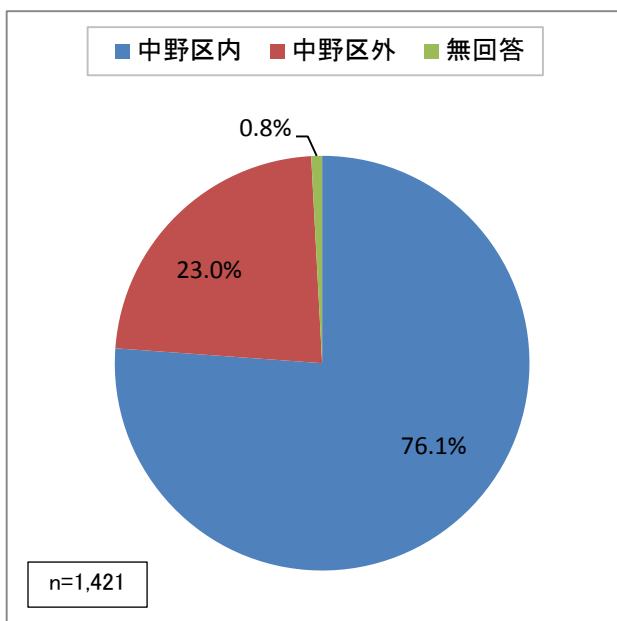
イ. 年齢階層

- ・65歳以上の回答者は、約 20%となっている。



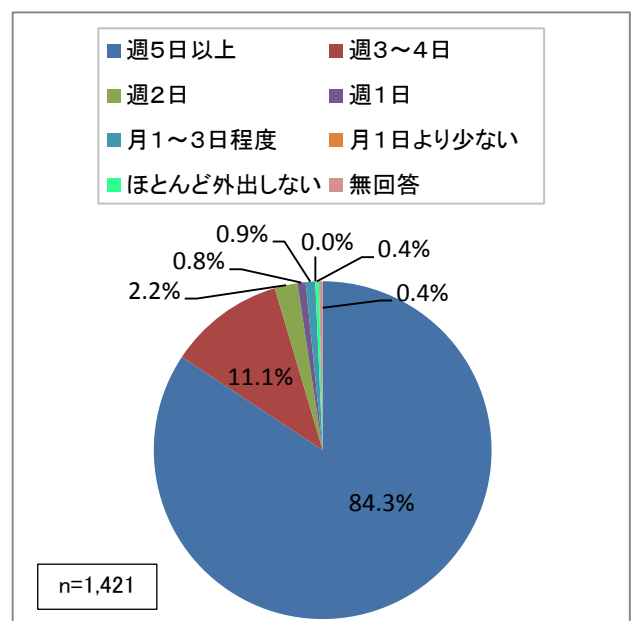
ウ. 居住地

- ・回答者の居住地は、区内が約 76%、区外が約 23%となっている。



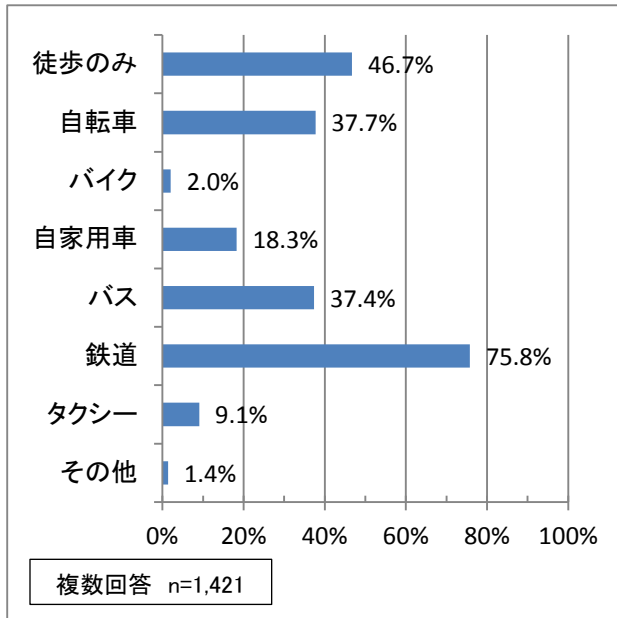
エ. 外出の頻度

- ・回答者の約 95%が週 3 日以上外出している。



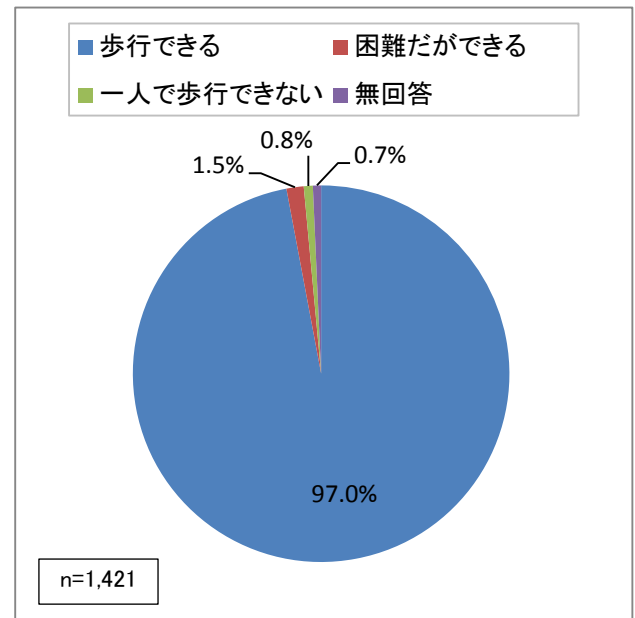
オ. 外出時の交通手段

- ・外出時に主に利用している交通手段は鉄道が最も多い。
- ・続いて、徒歩のみ（車いす等を含む）、自転車、バスとなっている。



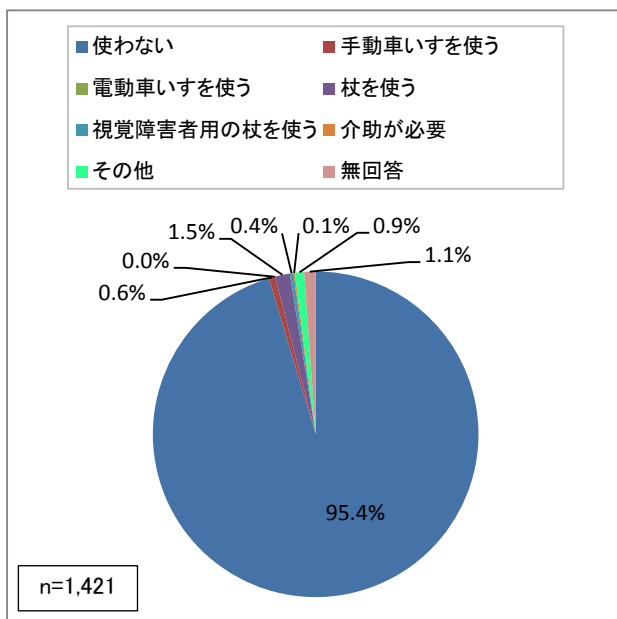
カ. 外出時に、一人で歩行が可能か

- ・回答者の97%が一人で歩行（車いす等を含む）が可能であり、歩行が困難または一人で歩行できない人は約2%である。



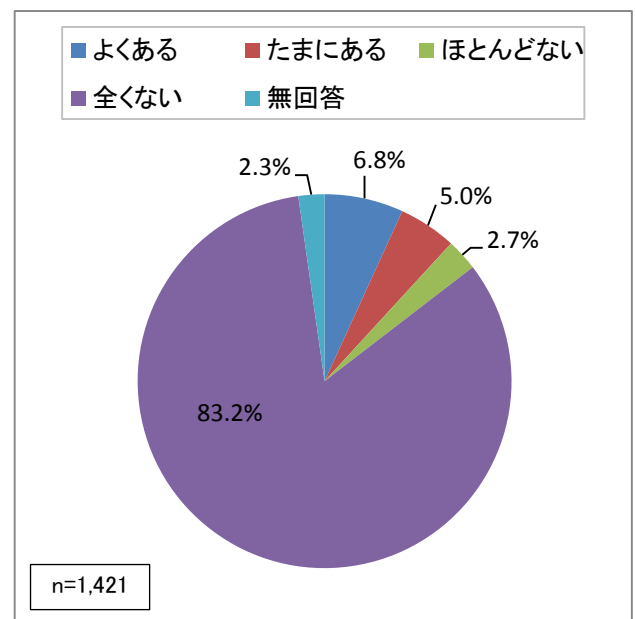
キ. 補助具の使用について

- ・外出時に車いすや杖などの補助具を使用している人は3.5%となっている。



ク. ベビーカーの利用について

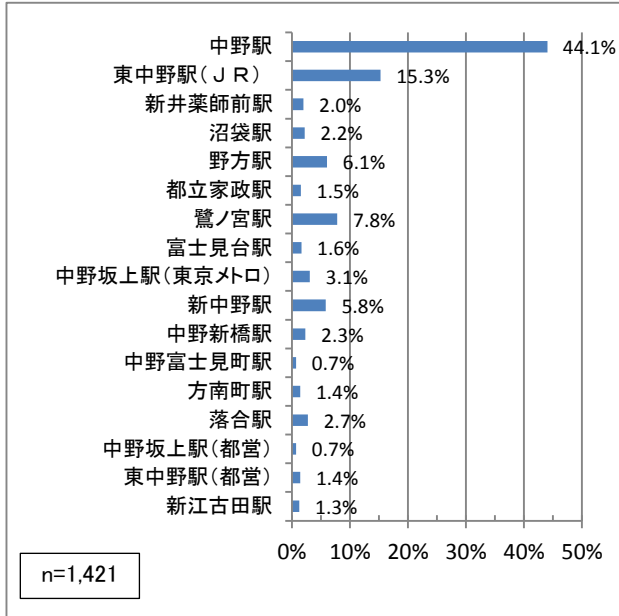
- ・ベビーカーの利用は、「よくある」と回答した人が6.8%、「たまにある」と回答した人が5.0%となっている。



② 駅または駅周辺の利用状況

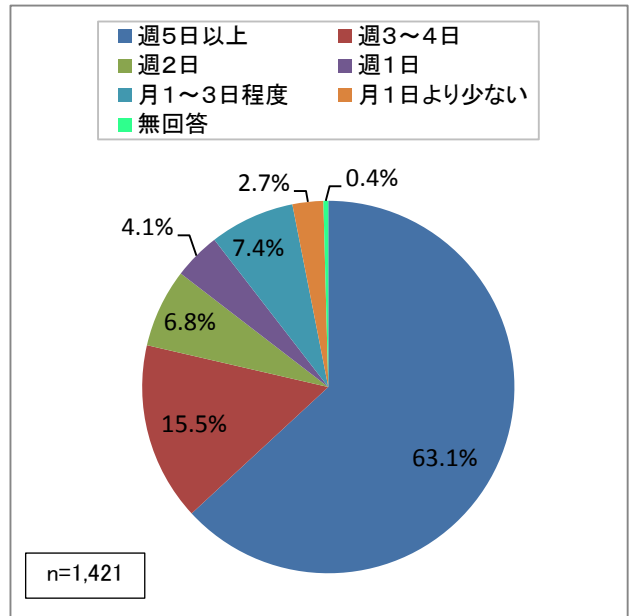
ア. よく利用する駅または駅周辺

- ・中野区内でよく利用する駅または駅周辺は、中野駅が約44%で最も多い。
- ・次が東中野駅で、JRと都営を合わせて約17%となっている。



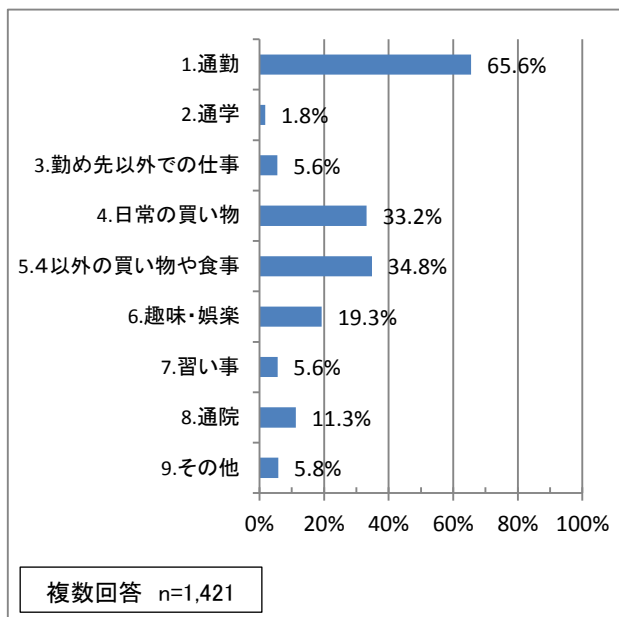
イ. よく利用する駅または駅周辺の利用頻度

- ・よく利用する駅または駅周辺の利用頻度は、週5日以上が約63%、週3~4日が約16%となっている。



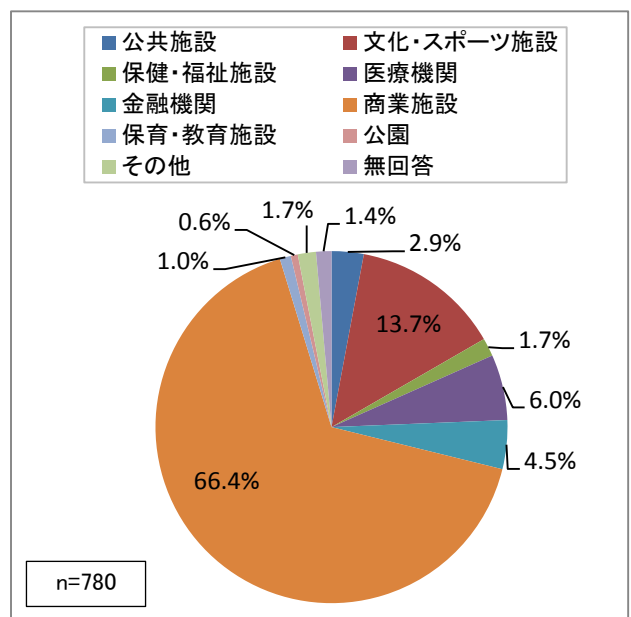
ウ. 駅または駅周辺へ行く目的

- ・よく利用する駅または駅周辺へ行く目的は、通勤が最も多い。
- ・続いて、買い物や食事、日常の買い物、趣味・娯楽となっている。



エ. 駅周辺において最もよく利用する施設

- ・駅周辺において最もよく利用する施設は、商業施設が約66%で最も多い。

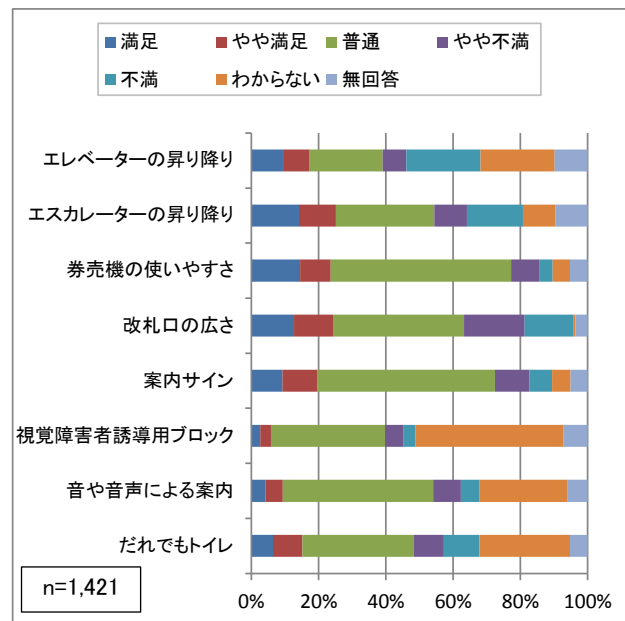
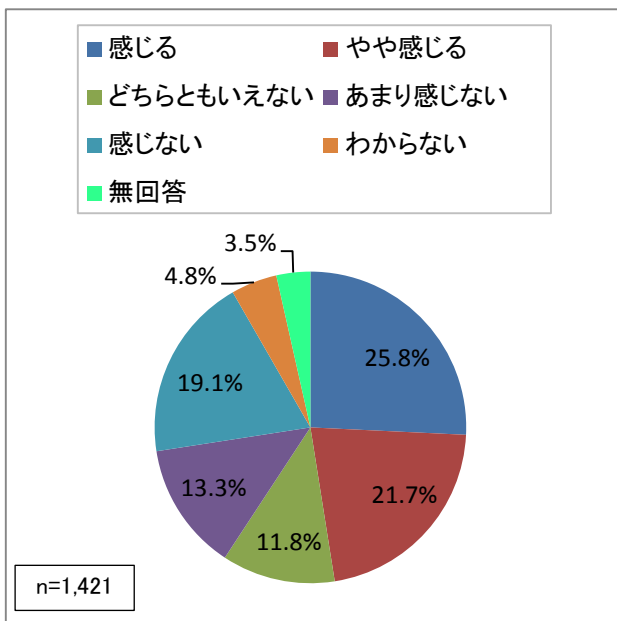


③ 駅のバリアフリー化について

ア. 駅施設は利用するようになった当初と比べて利用しやすくなったと感じるか
 ・「感じる」「やや感じる」が合わせて約48%、「あまり感じない」「感じない」が合わせて約32%である。

イ. 駅施設のバリアフリー*化の状況について満足しているか

- ・改札口の広さについて、約32%の人が「不満」または「やや不満」としている。
- ・エレベーターの昇り降りについて、約29%の人が「不満」または「やや不満」としている。



ウ. その他の主な意見・要望

- ・エレベーターが不足している。(50件)
- ・エスカレーターが不足している。(49件)
- ・改札の位置、数の不備・不足、出入口が狭い。(39件)
- ・駅が混雑しすぎている。(30件)
- ・駅構内の動線がよくない。(29件)
- ・トイレの位置や設備に問題あり。(26件)
- ・階段の幅が狭い、傾きが急。(23件)
- ・案内表示やサインが不足している。わかりにくい。(20件)
- ・ホームが狭い。(19件)

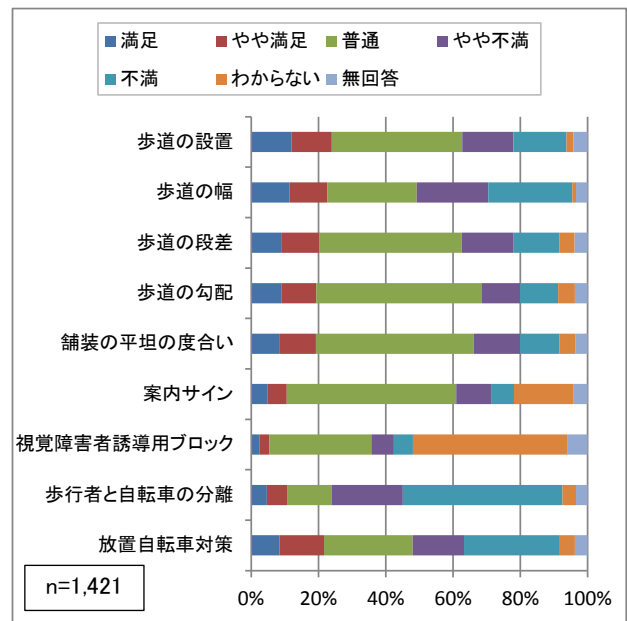
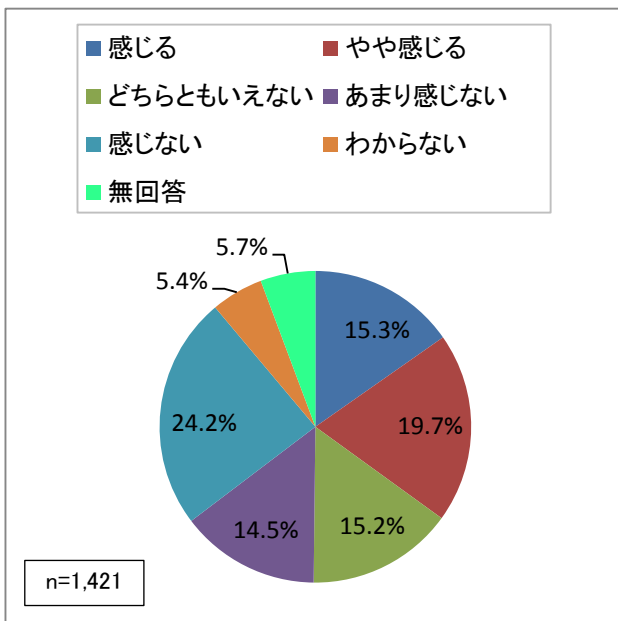
④ 駅周辺の道路のバリアフリー化について

ア. 駅周辺の道路は利用するようになった当初と比べて利用しやすくなったと感じるか

- ・「感じる」「やや感じる」が合わせて約35%、「あまり感じない」「感じない」が合わせて約39%である。

イ. 駅周辺の道路のバリアフリー*化の状況について満足しているか

- ・歩行者と自転車の分離について、約69%の人が「不満」または「やや不満」としている。
- ・歩道の幅について、約46%の人が「不満」または「やや不満」としている。
- ・放置自転車対策について、約44%の人が「不満」または「やや不満」としている。



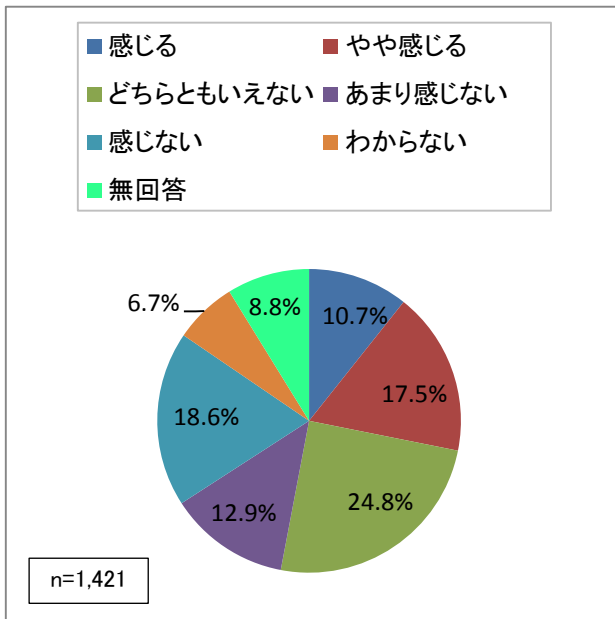
ウ. その他の主な意見・要望

- ・自転車のマナーがわるい。駐輪対策が必要。(50件)
- ・路上にはみ出している看板や商品が多く指導が必要。(20件)
- ・バス停の位置が不便。(15件)
- ・駐輪場が不足している。(14件)
- ・全体的に道幅が狭い。(14件)
- ・歩きたばこが多い。喫煙ブースがしっかりと分煙できていない。(14件)
- ・踏切で渋滞が起きる。(13件)
- ・歩道と車道の段差が大きい。歩道の舗装が凸凹している。(11件)

⑤ 駅周辺の信号機や横断歩道のバリアフリー化について

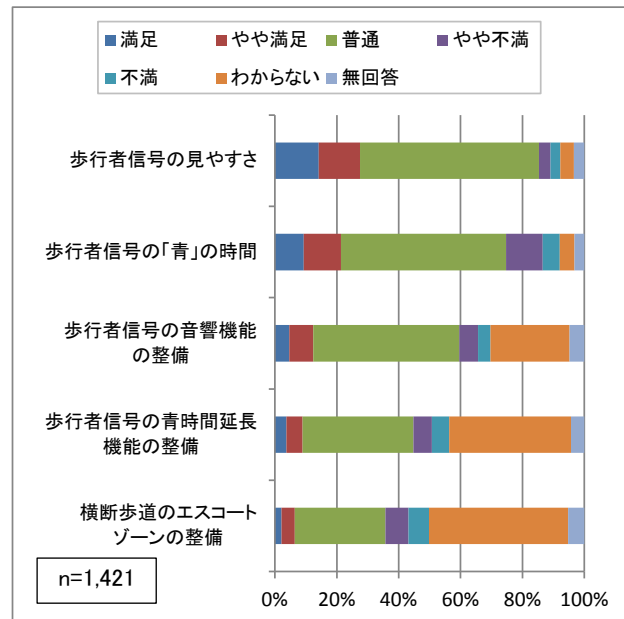
ア. 駅周辺の信号機や横断歩道は利用するようになった当初と比べて利用しやすくなったと感じるか

- ・「感じる」「やや感じる」が合わせて約28%、「あまり感じない」「感じない」が合わせて約32%である。



イ. 駅周辺の信号機や横断歩道のバリアフリー*化の状況について満足しているか

- ・歩行者信号の見やすさについて、約27%の人が「満足」または「やや満足」としている。



ウ. その他の主な意見・要望

- ・歩道橋があるため歩行者用信号が取り付けられてない箇所が多数ある等、歩行者用信号の不足。(13件)
 - ・自転車の信号無視が多い。自転車のマナー対策の必要性。(6件)
 - ・信号の青時間が短くて渡りきれない。(6件)
- (不二家から中野駅に向かう横断歩道、サンモールからサンプラザに向かう信号、千川通りの信号、山手通りと早稲田通りの交差点、青梅街道を横切る信号、杉山公園近くの信号)
- ・自転車と歩行者、自動車が混在している道が多く危険。(6件)
 - ・横断歩道が不足している。(5件)

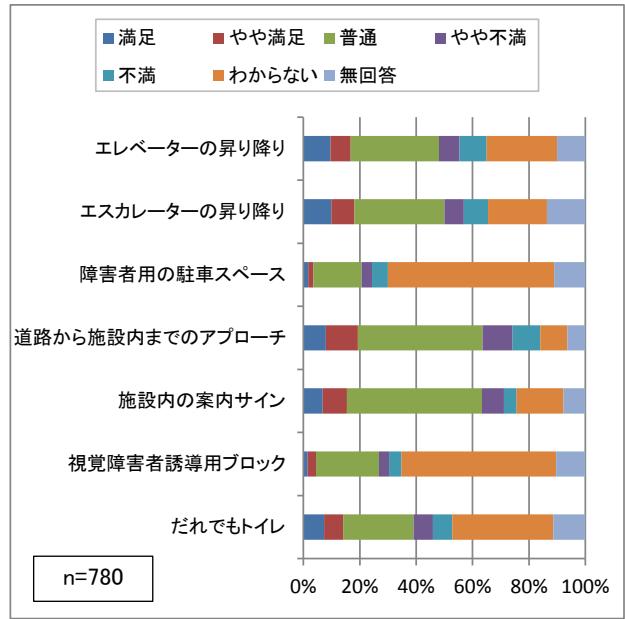
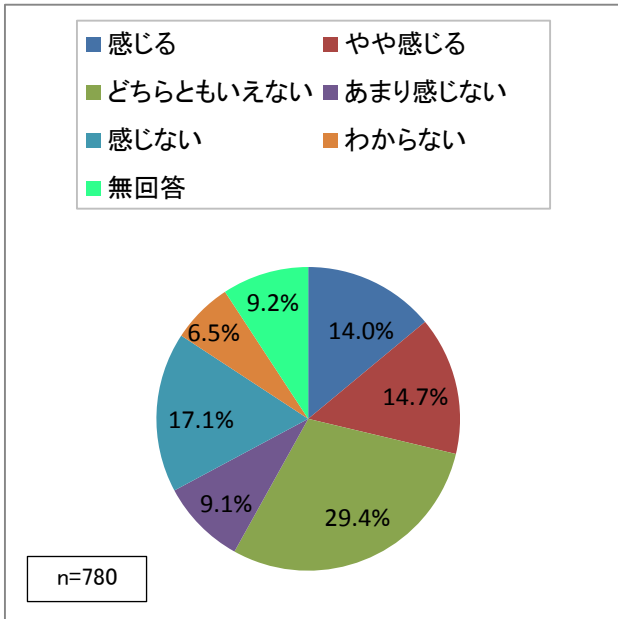
⑥ 駅周辺の施設のバリアフリー化について

ア. 駅周辺のよく利用する施設は利用するようになった当初と比べて利用しやすくなったと感じるか

- ・「感じる」「やや感じる」が合わせて約29%、「あまり感じない」「感じない」が合わせて約26%である。

イ. よく利用する施設のバリアフリー*化の状況について満足しているか

- ・道路から施設内までのアプローチについて、約20%の人が「不満」または「やや不満」としている。



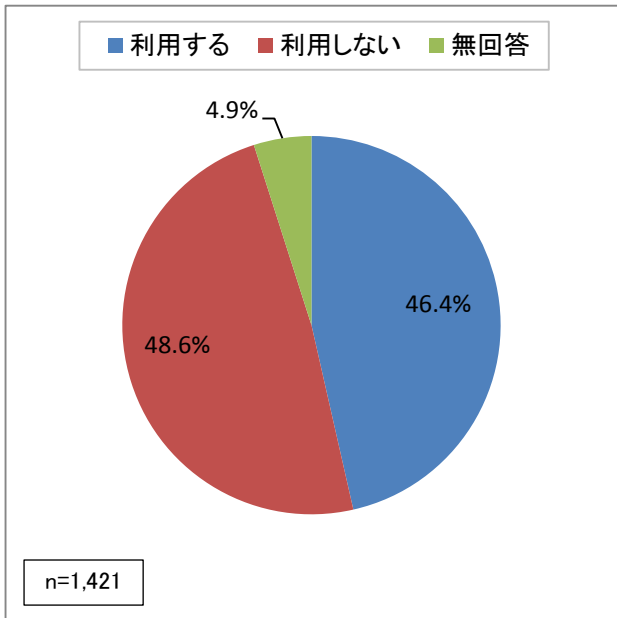
ウ. その他の主な意見・要望

- ・エレベーターやエスカレーターのない施設が多い。(9件)
- ・トイレが古い、汚い、多機能トイレ*が整備されていない。(6件)
- ・通路が狭い店舗が多く、ベビーカーや車いすでは通れない。(6件)
- ・店舗前の横断歩道や駐車場から店舗に入るまでに、人とぶつかる動線や、段差があるなどのバリアが続く。(5件)

⑦ バスのバリアフリー化について

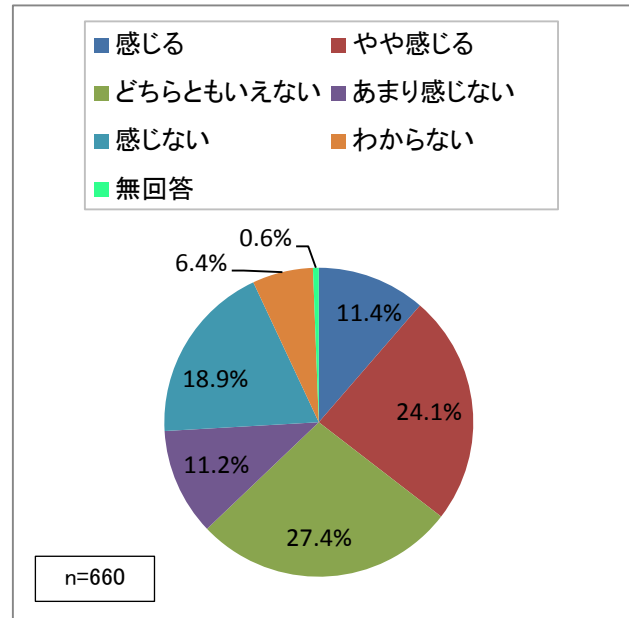
ア. 中野区内を運行している路線バスの利用状況

- ・回答者の約 46%が中野区内を運行している路線バスを利用している。



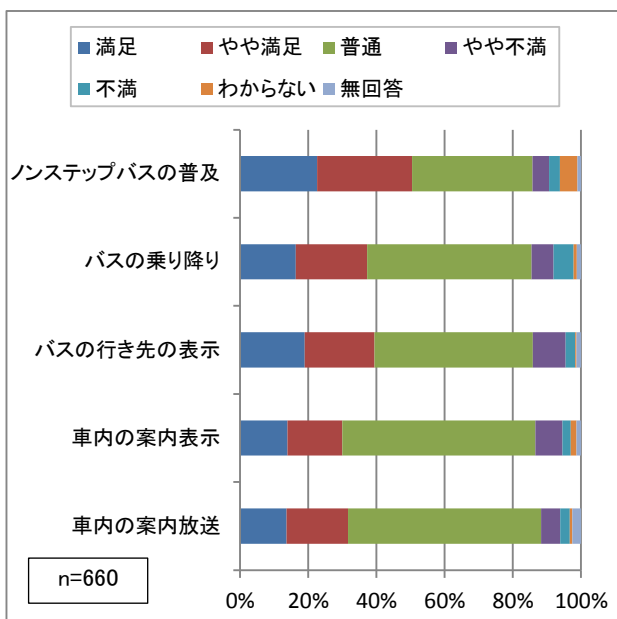
イ. 路線バスは利用するようになった当初と比べて利用しやすくなったと感じるか

- ・「感じる」「やや感じる」が合わせて約 36%、「あまり感じない」「感じない」が合わせて約 30%である。



ウ. 路線バスのバリアフリー*化の状況について満足しているか

- ・ノンステップバス*の普及について、約 51%の人が「満足」または「やや満足」としている。



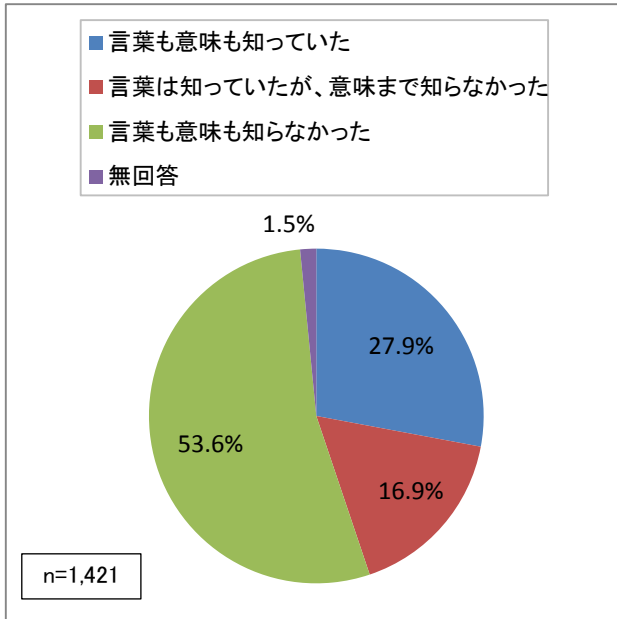
エ. その他の主な意見・要望

- ・バス停の段差、場所に問題あり（中野駅北口のバス停が遠くなった）。（42件）
- ・運行本数が少ない、減少した（35件）
- ・バス停での情報提供・案内表示が不足している。（20件）
- ・運転手の接客態度に問題あり。（18件）
- ・路線の組み方に不満。（13件）

⑧ 「心のバリアフリー」について

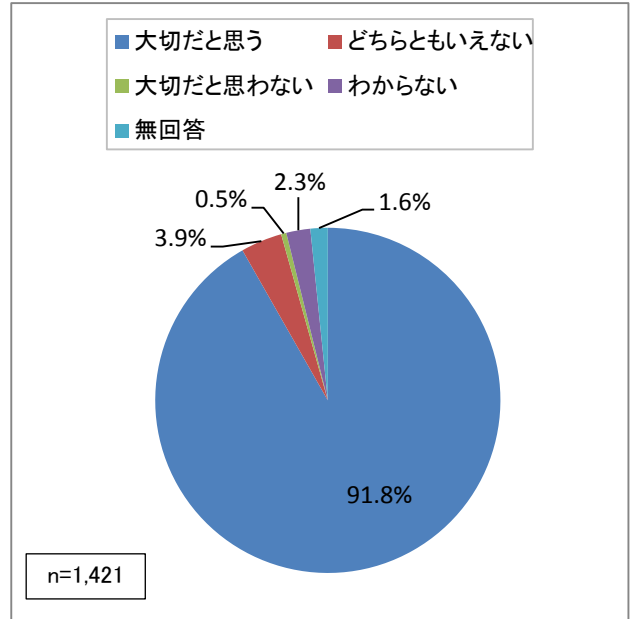
ア. 「心のバリアフリー*」について知っていたか

- ・「言葉も意味も知っていた」が約 28%、「言葉は知っていたが、意味まで知らなかった」が約 17%、「言葉も意味も知らなかった」が約 54%となっている。



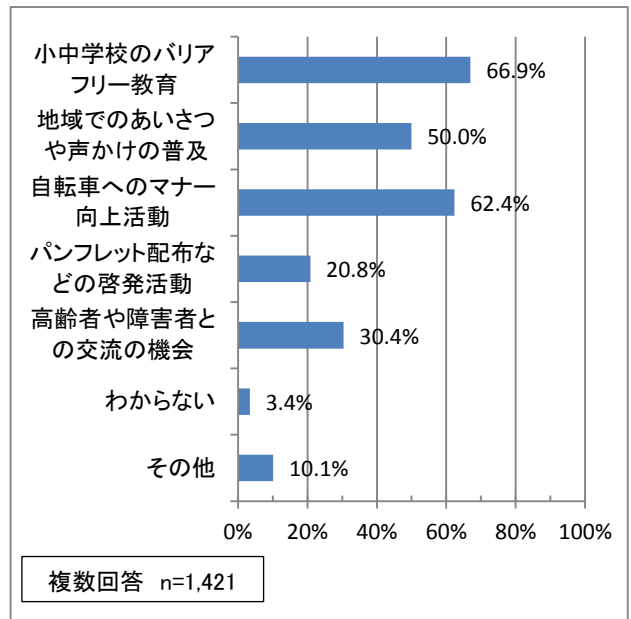
イ. 「心のバリアフリー」は大切だと思うか

- ・「大切だと思う」という回答が約 92%である。



ウ. 「心のバリアフリー」を進めるために必要なこと

- ・「心のバリアフリー」を進めるために、小中学校のバリアフリー教育や自転車へのマナー向上活動などの取り組みが求められている。
- ・「その他」の回答には、「家庭での教育、しつけ」「大人へのバリアフリー教育」「思いやりの気持ち」「区報やポスターによる広報活動」といった意見が出ている。



(3) 主な意見・要望（自由回答）

① 自転車利用におけるマナー向上・駐輪対策（158件）

- ・イヤホンを付けたままの走行、車道信号の無視など自転車のマナーの悪さにヒヤリとする。
- ・自転車の歩道走行が多く危険。歩行者と自転車の分離を徹底してほしい。
- ・放置自転車がも多く道幅が狭められている。

② 中野駅のバリアフリー化（108件）

- ・エレベーターがなく車いす利用者やベビーカー利用者にとっては非常に不便。
- ・車いす利用者のエスカレーター利用の際にエスカレーターが停止されるので、ホーム上に人があふれている。
- ・再開発により利用者の増加が著しく、朝夕のラッシュ時は危険を感じるほどに混雑している。
- ・混雑による事故発生を防止するため改札の増設を早く進めてほしい。

③ 歩道の整備（55件）

- ・歩道の傾斜がきつい箇所や舗装が凸凹している箇所が多く歩きにくい。
- ・区内の歩道は狭いところが多い。拡幅整備をしてほしい。
- ・歩道の狭さや段差など、ベビーカーを使って外出する際、不便に感じることが多い。

④ 東中野駅東口および周辺地域のバリアフリー化（52件）

- ・東口にはエレベーターもエスカレーターもなく高齢者やベビーカー、大きな荷物を持った人が苦勞している姿が目につく。

⑤ モラルの向上・助け合いの必要性（49件）

- ・心のバリアフリー*を進めるにあたって、障害者は決して特別な存在ではないという視点が大切だと思う。
- ・声を掛け合うこと、ちょっとした心配りが大きなバリアフリーにつながるのでは。

⑥ 教育現場における取り組みの必要性（19件）

- ・小学生、中高生の自転車利用におけるマナー教育の必要性を強く感じる。
- ・施設訪問などの小中学生の活動も、親や隣近所の大人達をも巻き込んだ地域の輪となるように工夫を加えるべき。

⑦ 鷺ノ宮駅および周辺地域のバリアフリー化（15件）

- ・中杉通りは道幅も狭く危険を感じる人が多い。
- ・急行停車駅にも関わらず整備がされておらず不便である。踏切の解消やエレベーター、エスカレーターの設置に取り組んでもらいたい。

⑧ 区報等での取り組みの紹介・情報提供（15件）

- ・高齢者や障害者はどのような対応が助かるのか、個人差がある前提でも生の声を紹介してもらいたい。
- ・このような取り組みをしている事を知らなかった。子供と共に小さな努力が出来るように、バリアフリーの取り組み状況と共に区から方法等を教えてもらいたい。

⑨ 対象駅・地域の拡大（14件）

- ・中野駅周辺はバリアフリー*化が進んでいるが、他の駅や地域に目が向けられていないように思う。特に西武新宿線沿線の整備が遅れている。

⑩ 歩きタバコ・喫煙スペースの改善（13件）

- ・アレルギー体質があるため公共の場での禁煙を徹底してほしい。心のバリアフリーとは、弱い人の立場に立ってものを考える事だと思っているので、公共の場での禁煙をもっと推進してほしい。
- ・歩きタバコはみんなが迷惑している。

⑪ 中野駅南口側の整備（12件）

- ・中野駅南口側は歩道が狭く整備が進んでいない。
- ・南口側は自転車の暴走も激しく、取り締まりを進めてほしい。

⑫ 高齢者・障害者参加の整備/意見収集（11件）

- ・健常者にはわからない部分が多いので、障害者や高齢者への聞き取りをすすめたほうがよいのでは。
- ・視覚障害者誘導用ブロック*、エレベーター、エスカレーター等設置の場合は、付ける前と後に意見を当事者団体に聞くべき。

⑬ バリアフリー化への疑問（11件）

- ・バリアがなくなることで体力の低下が懸念される
- ・助け合いがなくなるのではないか。

⑭ 踏切の解消（10件）

- ・「開かずの踏切」を解消してほしい。

⑮ 掃除・美化・緑化等のサービスの向上（10件）

- ・駅周辺の清掃にも力を入れてほしい。

⑯ バス停のバリアフリー化・位置の変更（9件）

- ・ノンステップバス*であっても、道路との段差により不便な個所が多々ある。
- ・ベビーカーでバスに乗るときに、バスが乗り場から離れて停車すると、一人では乗せられない。
- ・中野駅前整備が進んだがバス停が遠くなり、高齢者にとっては大変な状況にある。
- ・ベビーカーでバスを利用するとき、乗るときやベルトを着用するときの指示など、乗務員の対応が怖い。

⑰ 今後の取り組みへの期待（61件）

- ・どのような取り組みをしているのか知らなかった。移動は基本的なことなのでぜひ進めてもらいたい。
- ・誰もが安全に、不自由なく生活できる環境を整備していてもらいたい。
- ・電車や道路、バス乗り降り等々で、車椅子に乗っていても人の手を借りずに移動できるようにしてほしい。

2. 団体ヒアリング調査

(1) 調査の概要

- ・移動及び施設の利用についての問題点や課題、バリアフリー*化に関する要望等を把握するため、高齢者団体、障害者団体（肢体不自由者、車いす利用者、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、精神障害者を含む各団体）を対象にヒアリングを実施した。

【実施概要】

協力団体	実施日	実施場所
中野区聴覚障害者福祉協会	平成 25 年 11 月 27 日	スマイルなかの
中野区仲町就労支援事業所	平成 25 年 11 月 28 日	中部すこやか福祉センター
中野区身体障害者福祉協会	平成 25 年 12 月 2 日	中野区役所
中野区友愛クラブ連合会	平成 25 年 12 月 13 日	中野区役所
中野区愛育会	平成 25 年 12 月 17 日	中野区役所
中野区視覚障害者福祉協会	平成 25 年 12 月 19 日	視覚障害者福祉協会事務所
NPO法人ねこの手 ^{*1}	平成 26 年 2 月 18 日	ねこの手事務所

※1 NPO法人ねこの手：介助者派遣事業・移送サービス事業実施団体

※上記他、「中野区中途失聴・難聴者協会」からの情報提供も受けている。

- ・交通のバリアフリーに関係する多岐にわたる内容について各団体に対し1～2時間程度のヒアリングを行った。主なヒアリング項目は下記の通りである。

【ヒアリング項目】

項目	例
利用する施設	・団体の集会で利用する施設、会員が利用している公共・商業施設 など
電車の利用状況	・よく利用する駅、駅のバリアフリー化の印象、駅員の対応の印象
バスの利用状況	・利用頻度、利用しやすい点と利用しにくい点、サポートの必要性
道路の状況	・信号の見やすさ、施設へのアクセスの状況、誘導ブロックの敷設状況
交通安全の状況	・横断歩道や交差点の利用について思うこと、交通マナーの状況
緊急時・災害時の状況	・避難所への要望、緊急時に不安なこと
心のバリアフリー	・周囲の理解の状況、対応に望むこと、これまでの体験

(2) 結果の概要

① 中野区聴覚障害者福祉協会

- ・ 銀行や病院では派遣手話通訳を利用するが、プライバシーの観点から気にかかる。各銀行や病院で専門の通訳を用意してほしい。
- ・ 中野駅南側の郵便局には手話を使える人がいてありがたい。
- ・ バスの電光掲示板は前方だけでなく後ろや横にも設置してほしい。
- ・ 災害時には掲示板による指示を含む多数の方法を用いて知らせてほしい。
- ・ 手話を使う聴覚障害者は日本語の文章に慣れていないことについて知ってほしい。
- ・ コミュニケーションが取れず近隣との付き合いがない。

② 中野区仲町就労支援事業所

- ・ 都営の電車はフリーパスがあるのでよく利用している。
- ・ バスの停留所にベンチと上屋を設置してほしい。体調によっては長時間立っていることができないため利用に不安を感じる。
- ・ 行き止まりや路地の多い地域もあるので、災害時のことを考えると不安である。200mごとに設置するなど地図の数を増やしてほしい。
- ・ 偏見や無理解により差別的な言葉をかけられることもある。

③ 中野区身体障害者福祉協会

- ・ 施設のトイレには荷物を置く棚や掛けるフックを設置してほしい。杖歩行によりリュックサックを背負っている際に置き場所に困ることがある。
- ・ バスの運行本数が少なく利用しづらいと感じる。
- ・ バス停にベンチを設置してほしい。
- ・ 中野駅前や新青梅街道では自転車をよけきれずひやりとすることがある。

④ 中野区友愛クラブ連合会

- ・ 会合で利用する東中野小学校跡地のトイレは和式であり不便である。
- ・ 腰痛や関節痛を持つ会員が多く、階段を利用しなければならない電車よりもバスを選ぶことが多い。
- ・ バスの乗務員の対応はよく足腰の弱い会員のサポートをしてくれる。
- ・ 自転車利用者のマナーが守られていないと感じる。

⑤ 中野区愛育会

- ・ 視野が狭いので高い位置にある信号機は目に入らない場合がある。
- ・ 平仮名であれば読める人もいるので道路標識などには平仮名も付けてほしい。
- ・ 障害者の割引がICカードでも利用できるようにしてほしい。
- ・ ノンステップバス*やバス停の上屋など、バスが利用しやすくなった。

- ・ 緊急時に避難所となる学校施設には多機能トイレ*を整備してほしい。重度、重複の場合、おむつ替えの場所が必要。

⑥ 中野区視覚障害者福祉協会

- ・ ICカードの導入により障害者の割引は利用できないが電車での運賃の支払いがスムーズになった。
- ・ 沼袋駅は駅員のサポートが行き届いている。
- ・ ホームドアが設置されている駅は安心して利用できる。
- ・ ホーム上で視覚障害者誘導用ブロック*に沿って歩いているときに、柱にぶつかることが度々ある。視覚障害者誘導用ブロックは、柱に干渉しないように敷設してほしい。
- ・ バスの車両接近に関する情報を音声で示してほしい。
- ・ バスに乗車する際に「どちらまで」と聞いてくれる運転手もいて、ありがたいと感じる。
- ・ スマイルなかの付近の歩道には視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない。
- ・ 点字を読めない人でも点字が付いていると「配慮されている」と安心することができる。視覚障害者誘導用ブロックについても安心感が大きく異なる。

⑦ NPO法人ねこの手

- ・ スマイルなかののトイレの便座は、小柄な利用者は足が床に届かず使いづらい。各階で異なる仕様の設備を導入するなど工夫をしてほしい。
- ・ 駅が混雑する時間帯は、ホームドアが設置されていない鉄道駅は怖くて利用できない。
- ・ 歩道に電柱が出ていたり店舗の看板や商品が歩道にせり出している場合は危険を感じても車道を利用せざるをえない。
- ・ 買い物の際、自分ではなく介助者に話しかける店員や駅員が多い。目を見て話してくれないことも。
- ・ 緊急時や被災時には支援者も同じ状況に陥っている可能性が高いことから、誰にどのように頼ればよいかわからず不安がある。

【ヒアリング項目ごとのまとめ】

利用する施設

- ・ スマイルなかの、福社会館、すこやか福祉センター、東中野小学校跡地、勤労福祉会館、中野ブロードウェイ、警察病院、中野総合病院などをよく利用する。
- ・ 銀行や病院では派遣手話通訳や派遣介助を利用するが、プライバシーの観点から気にかかる。
- ・ 利用する施設で筆談ボードの設置が増えているという印象はない。

電車の利用状況

- ・ 中野駅にはエレベーターが設置されておらず不便を感じている。
- ・ 障害者の運賃割引への対応に慣れていない駅係員が多い。
- ・ 駅員が携帯スロープを用意するための待ち時間が長いと寒さが体にこたえるので、地上駅の路線が近くても地下鉄を利用する。
- ・ 福祉会館のある沼袋駅などは障害者のサポートに慣れていて安心できる。
- ・ ICカードの導入により障害者の割引は利用できないが運賃の支払いがスムーズになった。

バスの利用状況

- ・ ノンステップバス*が増え、バスが利用しやすくなった。
- ・ 以前よりも対応が改善されており利用しやすいと感じている。
- ・ 停留所にベンチと上屋を設置してほしい。
- ・ 車両接近に関する表示を音声と視覚で示してほしい。

道路の状況

- ・ スマイルなかの付近の歩道には視覚障害者誘導用ブロック*が敷設されていない。
- ・ 自転車の通行量が以前に比べ増えているように感じる。
- ・ 道路の標識には漢字とローマ字だけでなく平仮名も付けてほしい。
- ・ 放置自転車が通行の妨げとなっている。白杖がスポークなどに巻き込まれ折れる被害も出ている。
- ・ 残り時間表示式の信号機は横断するか待つかを判断できるので利用しやすい。
- ・ 歩道から車道への切り下げの勾配が急で怖い箇所が多々ある。
- ・ 店舗の看板や商品が歩道にせり出していると通れないことが多くUターンをして戻らなくてはならないが、それもできず立ち往生することがある。

交通安全の状況

- ・ 中野駅前や新青梅街道では自転車をよけきれずひやりとすることがある。
- ・ 青信号で横断歩道を渡ろうとしたときに自転車が飛び出してくることがあり怖い思いをすることが度々ある。
- ・ 音響式信号機*は増えていると感じるが依然として少ない。

緊急時・災害時の状況

- ・ 緊急時に避難所となる学校施設には多機能トイレ*を整備してほしい。
- ・ 行き止まりや路地の多い地域もあるので、災害時のことを考えると不安である。200mごとに設置するなど地図の数を増やしてほしい。
- ・ 災害時は音声による指示、掲示板による指示など多数の方法を用いて知らせてほしい。

- ・ 障害者を含めた避難訓練を実施してほしい。
- ・ 支援者も被災している状況を想定すると、緊急時に誰にどのように頼ればよいかわからず不安である。

心のバリアフリー

- ・ 手話を母語とする聴覚障害者は日本語の文章に慣れていないことについての理解が不足している。
- ・ 点字を読めない人でも点字が付いていると「配慮されている」と安心することができる。視覚障害者誘導用ブロック*についても安心感が大きく異なる。
- ・ コミュニケーションが取れず近隣との付き合いがない。
- ・ 介助者ばかりを見て自分と目をあわせて話してくれない人がいる。
- ・ 体調不良により駅のベンチで横になるなどのことについて理解をしてもらいたい。
- ・ 社会にいろいろな人がいて、助け合いましょうという意識が根付くとありがたい。

資料4 用語解説

【あ行】

エスコートゾーン

横断歩道の中央部に道路全幅にわたって触覚マーカ(突起帯)を敷設した設備で、視覚障害者の道路横断を支援するもの。

オストメイト

直腸・膀胱などの機能障害により、人工肛門・人工膀胱を造設している人のこと。排泄物を溜めておく袋(パウチ)を装着している。

音響式信号機

歩行者用青信号の表示の開始または表示が継続していることを音響により伝達することができる装置を付加した信号機のこと。

【さ行】

視覚障害者誘導用ブロック

視覚障害者を誘導するために床面や路面等に敷設される、線状、点状の突起をもったブロックのこと。

スパイラルアップ

具体的なバリアフリー施策などの内容について、高齢者や障害者など当事者の参加の下で検証し、その結果に基づいて新たな施策や措置を講じることによって、段階的・継続的な発展を図っていくこと。

【た行】

多機能トイレ

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児を連れた人など、誰もが円滑に利用できる十分なスペースを確保したトイレのこと。オストメイト(人工肛門や人工膀胱を利用している人)用の洗浄器や乳幼児のおむつ替え用のベビーベッドなどの機器を備えたものがある。

【な行】

内方線付き点状ブロック

鉄道駅のホームの縁端を警告するためのブロックで、従来の点状ブロックに加えて、どちらがホームの内側か分かるように、点状ブロックの内側に線状突起を1本追加したブロックのこと。

ノーマライゼーション

障害者や高齢者など社会的に不利を負う人々を当然に包含するのが通常のものであり、そのあるがままの姿で、ほかの人々と同等の権利を享受できるようにするという考え方。

ノンステップバス

乗降口の階段をなくし乗降を容易にしたバス車両のことで、床の高さが地上から概ね35cm以下のもの。

【は行】

バリアフリー

高齢者や障害者などが社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去(フリー)すること。もともと、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。

ホーム柵(ドア)

駅のホームの縁端に設けられた、ホームと線路を仕切る柵(ドア)。ホーム上の利用者が線路内に立ち入ったり、転落したりするのを防ぐなど安全を確保できる。

【や行】

有効幅員

歩道及び横断歩道橋などの通路・階段の幅員から、縁石、手すり、電柱、標識などを除いた幅員。

ユニバーサルデザイン

あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人権などにかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

【ら行】

連続立体交差事業

踏切が連続している鉄道の一定区間を連続して高架化又は地下化することにより、多数の踏切除去と道路と鉄道との立体交差化を一挙に実現する事業。「開かずの踏切」による渋滞の解消、鉄道による市街地分断の解消、踏切事故の解消などが図られる。

路側帯

歩道がない道路で、歩行者の安全のため、路端寄りに道路標示(白い実線)によって区画された帯状の部分のこと。道路交通法により定められており、自動車等は路側帯に進入して通行してはならない。

中野区交通バリアフリー整備構想改定協議会委員

団体等	所属・職名等	備考
学識経験者	日本大学理工学部 交通システム工学科 助教 江守 央	会長
	首都大学東京都市環境学部建築都市コース 教授 竹宮 健司	副会長
	帝京平成大学現代ライフ学部人間文化学科 講師 森川 洋	副会長
高齢者 障害者 団体	中野区友愛クラブ連合会	
	中野区身体障害者福祉協会	
	中野区聴覚障害者福祉協会	
	NPO法人中野区視覚障害者福祉協会	
	仲町就労支援事業所	
	中野区愛育会	
鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社総務部企画室	
	西武鉄道株式会社 鉄道本部計画管理部鉄道計画課	
	都営地下鉄 東京都交通局建設工務部計画改良課	
	東京地下鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部計画課	
バス事業者	関東バス株式会社	
	西武バス株式会社	
	都営バス 東京都交通局自動車部計画課	
	京王バス東株式会社 中野営業所	
道路・公園 管理者	東京都建設局 第三建設事務所 補修課	
	中野区都市基盤部都市基盤整備担当	
	中野区都市基盤部道路・公園管理担当副参事	
交通管理者	中野警察署 交通課交通規制係	
	野方警察署 交通課交通規制係	
行政機関	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課	
	国土交通省関東運輸局交通環境部 消費者行政・情報課	
中野区	経営室企画担当副参事	
	都市政策推進室中野駅周辺まちづくり担当副参事	
	西武新宿線沿線まちづくり担当副参事	
	健康福祉部福祉推進担当副参事	
	健康福祉部障害福祉担当副参事	
	都市基盤部交通対策担当副参事	
事務局	都市基盤部都市計画担当参事	

※まち歩き参加協力団体：特定非営利活動法人ねこの手、中野区中途失聴・難聴者協会